

令和3年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位	1番	氏名	佐野 英俊	質問形式： 一問一答
1. 件名 捕獲イノシシ処理施設の広域整備を				
要旨				
<p>増加している捕獲イノシシの処理は、捕獲者自らによる埋設処理や、解体後または個体のまま環境管理センターで一般の収集ごみと混合焼却処理されている。焼却炉の処理能力は小規模で、個体物の投入による焼却施設への負担は計り知れないものがある。</p> <p>鳥獣被害対策実施隊による埋設や解体作業等の負担軽減と、焼却炉への負荷を無くすため、イノシシなどの鳥獣をオガクズの活用で分解する減容化処理施設などの広域的整備が必要ではないか。</p>				
① イノシシの捕獲と被害の実態は。				
② 捕獲後の処理の現状は。				
③ 鳥獣減容化処理施設の広域的整備を、本村から発信しては。				
2. 件名 防災調整池流末河川（奥田川・荒屋敷川・楳田川）の管理は適正か				
要旨				
<p>開発総面積308haの第二仙台北部中核工業団地には、洪水調整を目的とした大規模の防災調整池が3ヶ所に設置され、調整池流末は奥田川・荒屋敷川・楳田川の3河川に放流している。</p> <p>第二工業団地造成から約25年経過し、更に30haの追加造成が発表されているが、それぞれの河川は適正に管理されているか。</p>				
① 防災調整池流末河川の現状は。				
② 河川愛護作業における地元の声は。				
③ 一級河川の管理者である県の取り組みは。				

令和3年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 2番	氏名 佐々木 春樹	質問形式： 一問一答
<p>1. 件名 女性消防団員組織設置に関して村としての考えは</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>要旨</p> <p>消防団員数が減少する一方で、全国的に女性消防団員数は年々増加している。</p> <p>令和2年4月1日現在では27,200人全体の3.3%、女性消防団員を採用する消防団の割合は75.1%となっている。女性消防団員は地域の実情に応じて、消防団本部付けの採用とされたり、分団に所属したり、女性のみで組織する分団に所属したり形態は様々の様である。</p> <p>① 消防団の待遇が変わる今、女性消防団員組織について考えるべきでは。</p> <p>② 村全体で防災に取り組む時、女性の力が必要なのでは。</p> <p>③ 団員減少に対して村で取組んでいることは。</p>		
<p>2. 件名 ぼい捨て禁止条例設置を</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>要旨</p> <p>最近道路(歩道含)や側溝、林や草むらにゴミが散乱している。特にコロナ禍で酒類提供店等に行けず、コンビニ等で購入したビールや酎ハイの空き缶が異常な程多く捨てられている。</p> <p>前回の環境美化運動の際も、トラック2台分のゴミが収集された地区もある。</p> <p>又、草刈作業中には、空き缶やペットボトル、ビニール袋から散乱しているゴミが草刈機の刃に絡む等、作業に困難をきたしている。地方自治研究機構によると、6割以上の自治体で条例制定しており、内5割が罰則規定を置いているとある。</p> <p>その中には環境美化に関する条例も含んで回答している自治体もある様だが、村はどの様な認識か。</p> <p>① 環境省等から調査は有ったか、有ったならどの様に回答したか。</p> <p>② ゴミのぼい捨てに関して村ではどの様な認識でいるのか。</p> <p>③ ぼい捨てを防止する取り組みはしているのか。</p> <p>④ ぼい捨て禁止条例を設置する考えは有るか。</p>		

令和3年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位	3番	氏名	石川 敏	質問形式： 一問一答
1. 件名 公共施設の指定管理委託の方針を問う				
要旨				
村では各公共施設の管理運営を指定管理者に委託契約しており、現契約が令和3年度で期限を迎え、令和4年度から契約を更新する予定である。				
現在、指定管理に係る各種手続き中であり、指定管理施設や業務内容の変更も予定されているが、指定管理委託に係る基本方針について伺う。				
① 指定管理者の選定手続きの進め方は適切か。				
② 体育施設や美術館において対象施設や業務内容を変更する理由は何か。				
村での直営管理経費と指定管理経費との比較検討は。				
③ 利用者側から見て利便性が向上になる点は何か。				
各施設の利用状況はどのように判断しているか。施設の耐用年数は。				
④ 施設の管理運営責任者である村長として、今後の運営方針はどのように考えているか。				

令和3年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 4番	氏名 小川 ひろみ	質問形式： 一問一答
1. 件名 大衡城について今後の考えは		
要旨		
<p>大衡城は平成9年にGLAより1億9,600万円で取得、併せて工事費3,078万円の改修を実施しその後クリエートパークの荒造成に係る自衛隊部外工事の隊員宿舎として平成12年まで活用している。平成13年度にはみやぎ国体の選手食堂として利用され、このためにも簡易的な改修工事250万円、国体以降から平成18年まで生涯教育施設として利用、通学合宿などに活用してきた。平成17年度には大規模改修として8,450万円、平成18年度は一部改修730万円を支出している。平成19年度以降は万葉まちづくりセンターへ指定管理となり、平成19～23年は年間1,258万円、平成24～28年は年間1,270万円、平成29～令和3年は年間1,136万円の指定管理料となっている。買取取得から改修等含め3億超えの経費等かけてきている。令和4年には指定管理とせず、業務委託での管理とするというのが今後の考えを問う。</p>		
① 老朽化はどう把握しているのか。		
② 業務委託方法と管理はどうなるのか。		
③ 現在使用用途が限られているが、幅広い用途にできないか。		
④ ネーミングライツを含め企業への働きかけをしては。		
⑤ 検討委員会等の考えは。		
2. 件名 デジタル技術で地域活性化を		
要旨		
<p>デジタル技術を使った新サービスなどを普及させ、人口減少が進んでも便利で豊かな生活を維持することが重要である。国では新たな交付金「デジタル田園都市国家構想推進交付金」を創設予定で、地域活性化に取り組む自治体に財政支援をするという。</p> <p>これからの国の動向を注視し、持続可能なまちづくりを目指す考えは。</p>		
①本村のWi-Fi環境整備進捗は。		
②デジタル技術に特化した人材を取り入れる考えは。		
③デジタル化で長く住み続けられる地域づくりを考えては。		

令和3年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 5番	氏名 小川 克也	質問形式： 一問一答
1. 件名 急務である奥田地区内県道整備の状況は		
要旨		
第二仙台北部中核工業団地は、自動車産業など製造業を中心に14社が進出しており、奥田地区内県道の交通量は年々増加傾向で、交通事故のリスクが高まっている。また、新たに用地を整備し、企業誘致を進めていくことになっているが、その前に奥田地区内県道の整備が急務であるとする。		
① 衡下団子沢地内から奥田中沢地内を結ぶ路線新設計画があるが、進捗状況は。		
② 近年、奥田地区内県道の交通量はどのように変わってきているのか。また、事故発生状況は。		
③ 奥田地区内県道の交通安全対策は。		
2. 件名 スポーツ少年団指導者の育成促進を		
要旨		
令和2年度より、スポーツ少年団指導者制度が改正され、4年に1度、資格更新手続きが必要になり登録料が発生することになった。今回の制度改正により、スポーツ少年団指導者の負担が増すことから、既に資格を保有している方による指導体制の継続に加え、新たに指導者の確保を図るため、指導者資格登録料に係る費用の一部を助成する考えはないか。		
① 制度が改正されるが、その概要は。		
② 指導者育成の取り組みは。		
③ 指導者資格登録に係る費用を助成できないか。		

通告順位 6番	氏名 赤間 しづ江	質問形式： 一問一答
1. 件名 公共施設の指定管理者選定手続きを問う		
要旨		
令和3年度末で村内7施設の指定管理期間が満了し更新の時期を迎える。		
令和4年度から5年間の指定管理施設として青少年交流館が対象から除かれ、新たに屋内運動場、プールなど3つの体育施設が追加され、計9施設となる予定である。		
今回は、公募により指定管理者募集が行われ、選定委員会の審議を経て優先交渉権者が決定している。		
① 指定管理者を、公募によるとした理由は。		
② 公告から申請締め切りまでの募集要項周知の方法、スケジュールは適切だったか。		
③ 選考委員の構成メンバーはどうなっているか。委員長、副委員長はだれが務めているか。		
④ 事業者選定評価基準はどのようなものか。特に重点としている項目は何か。		
⑤ 公募によって競争原理が働き、指定管理者には、より緊張感を持った管理運営が望まれる。毎年度末の報告書と合わせて、評価が重要になってくるのではないか。		

令和3年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 7番	氏名 高橋 浩之	質問形式： 一問一答
1. 件名 大衡村の今後の農業振興策は		
要旨		
<p>今年の米概算金は一等ひとめぼれ60kgで、前年度より3,100円(25, 4%)減の9,100円となった。</p> <p>これを大衡村の基準単収525kg(10a)で算出すると、27,125円の減収になる。農業経営者にとって非常に厳しい状況であり、正に農家の死活問題だと考える。そのため富谷市を始めとして県内各自治体が、米価下落に対して支援策を打ち出しており、大衡村も10a当たり5,000円を次年度の地域農業継続支援金として拠出するが、どの自治体も新型コロナウイルス感染拡大に伴う、外食需要の激減も要因の一つとしており、今年度限りの施策になると思われる。</p> <p>しかし、米余りに伴う価格下落と転作拡大は、次年度以降も間違いなく続いて行く。</p> <p>そこで大衡村では第六次総合計画に農業を基幹産業であると、しっかりと明記しているので、村長の考える大衡村農業の将来について、どのように検討しているのか2つの視点から伺う。</p>		
1 令和3年の転作率は42, 3%であるが、米余りの状況から今後もその増加傾向は避けられない。		
<p>しかし大衡村の主力転作物である大豆は、多くの圃場で連作障害が発生しているのに、他品目への転換は進んでいない。現在は飼料用米を推進しているが、単品目に集中するリスクも考えるべきではないのか。またアスパラガス等の特産品目の展開も滞っており、新たな特産品も無いことから活性化も図れていない。</p> <p>これらを打破するための方策を、村当局は検討しているのか。</p>		
2 村にも、集落営農団体や大規模農業法人・農作業機械の共同利用組織があるが、村内全体をカバーしているわけではない。その他多くは個人経営の農家であるため、非常に厳しい現在の農業情勢下において、高価な作業機の更新もままならない状態である。またJA大衡支店にあったライスセンターも、大郷カントリーの竣工を受け閉鎖したが、やはり利用者からは「大郷は遠すぎて大変だ」と言う声も聞こえて来る。		
<p>様々な農業環境の悪条件が重なり、離農という言葉も現実的を帯びて来ている今、大衡村として何が出来るかを、真剣に検討されているのか。</p>		